



セルフケアで消えないシミは皮膚科に相談

適切なシミ取り治療は 専門医の正しい診断から

できてしまった頬のシミ。「レーザーで取ってしまえたら」と考えたことは
ありませんか。でも、いざとなるとクリニックかエステサロンか、どんな施術をす
るのか、費用はいくらかかるのか...と気が引けてしまうもの。そこで今回は、
皮膚科の専門医・しものせき皮膚科クリニックの院長・中村好貴先生に初めて
のシミ取り治療で気をつける点についてお話をうかがいました。

Q シミ取り治療は自由診療のイメージが強いのですが、保険が適用される場合もあるのですか？

A ひとことでシミといっても様々な種類があります。一般に悩みが多いのは、紫外線や加齢を原因とする「老人性色素斑」や、30代・40代の女性に発症する「肝斑(かんぱん)」、生まれつきの体質である「そばかす」など。これらのシミ取り治療は自由

Q 皮膚科ではどんなシミ取り治療を行うのでしょうか。また、顔に種類の違うシミがある場合はどんな治療を行うのでしょうか？

治療法はシミの種類によって変わってきます。そのシミがどんな性質で、治療法は何が有効かという適切な診断がされず誤った治療を行うと、単にシミが薄くならないだけでなく施術前より濃くしてしまう可能性があります。シミの状態を正しく把握するために、皮膚科や形成外科の専門医を受診することをおすすめします。(皮膚科専門医は日本皮膚科学会の皮膚科専門医MAPで探すことができます)

Q シミ取りをする場合、病院やクリニックの皮膚科とエステサロンとでは何が違うのでしょうか？

A 医療用レーザーは医師でなければ使用できないので、基本的にレーザーによるシミ取り治療は病院やクリニックで行えませんが、しかし、機器の違い以上にまず心に留めてほしいのが、専門医による正確な診察が行われているかです。

エステサロンには医師はいませんが、たとえ「クリニック」と名前が付いていても担当医が皮膚科の専門医であるとは限らないのです。先の通りシミには種類があり、適切な



レーザー治療後の注意点は「日焼け」。施術後3カ月以内に日焼けをすると炎症性色素沈着を起こす可能性も。日中の日焼け止め、洗顔後の保湿など通常のスキンケアを忘れず。

を照射するダウンタイムのない施術も行われるようになってきました。

紫外線による一般的なシミ(老人性色素斑)や遅発性両側性太田母斑は主にレーザーで治療します。そばかすは状態を診て、レーザーか IPL が適切かを判断します。レーザーを当ててしまうと、かえってシミが濃くなる危険性があるのが肝斑(かんぱん)です。肝斑は1回の施術ではなく、内服薬、また塗り薬やローションで一定の時間をかけてゆつくり治していくのが基本です。種類の違うシミが同時に発症しているケースも珍しくありません。最も多いのが老人性色素斑と肝斑

Q レーザーや IPL の施術に麻酔は使いますが、治療費はどのくらいかかるのでしょうか？

A レーザー治療の痛みでよく表現されるのは「ゴムで肌をパチンと弾くような痛み」。そのためクリームやテープなどの表面麻酔で痛みをやわらげて施術します。IPL はレーザーほど痛みがないので麻酔の有無は本人の希望で決めます。施術時間はケースごとに異なりますが目安として15〜30分程度、いずれも日帰り治療で行えます。施術費用はシミの大きさなどで変わるため一概には言えませんが、

しものせき 皮膚科クリニック **中村 好貴 先生**

山口大学医学部医学科卒業後、山口大学皮膚科入局、山口大学大学院医学系研究科博士課程修了後、山口大学医学部附属病院皮膚科助教、山口大学医学部学内併任講師、山口大学医学部附属病院皮膚科講師を経て、2017年5月 しものせき皮膚科クリニック開院

山口大学医学部皮膚科非常勤講師、医学博士、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、日本皮膚科学会認定美容皮膚科、レーザー指導専門医、日本レーザー医学会認定レーザー専門医(皮膚科領域)

皮膚科・美容皮膚科・アレルギー科
しものせき皮膚科クリニック
〒751-0820 山口県下関市新椋野3丁目1-23
☎083-227-2102



入場無料

健康セミナーのお知らせ

セルフケアで気になるシミはありませんか？
美容皮膚科の専門医がお答えします

日時 平成29年 9月3日(日)
13:30開場 14:00~開演(予定)

場所 海峡メッセ下関 801大会議場
山口県下関市豊前町3-3-1

定員 80名 定員になり次第、受付終了とさせていただきます。

●お問い合わせは.....
サンキュードラッグ 新椋野薬局 tel.083-228-6239まで